

第2回 産業衛生肥満症研究会

～ 増え続ける高度肥満者にどう対応するか ～

■日時：5月11日（木）17:40-19:10（予定）

約1時間程度の講演後、最後に質疑応答、ディスカッションを予定

■会場名：東京ビッグサイトTFTビル 東館9階 第6会場（研修室905）

東京都江東区3-6-11（詳細は以下参照下さい）

■座席数：約140席 ■参加費：無料

■座長：谷川 武先生（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座教授）
関洋介先生（四谷メディカルキューブ減量外科）

近年、肥満人口は世界的に増加しており、特にBMI 35kg/m²以上の高度肥満者は増加は問題となっています。現在、成人人口の約0.5%すなわち200人に1人程度がこれに該当すると考えられ、実際に企業健診の場などでも目にする機会が増えています。肥満は糖尿病や高血圧症、睡眠時無呼吸症候群、関節症といった健康障害の強いリスク因子であるとともに、うつ病や不安障害といった精神疾患とも関連が深く、それにより休職を余儀なくされるといった事例もあり、医学的にも社会的にも効果的な対策が必要とされ、実際に職域でも生活習慣の改善を軸とした様々な介入が行われ、しかしながら、こと高度肥満者においては十分な成果を得ることが難しいのが現実です。

本集会では、今後も増加が予想される高度肥満者に対し「職域の健康管理としてどうアプローチするべきか」をテーマに各分野の専門職からご意見を頂き、ディスカッションする研究会です。

■タイムスケジュール(予定) ※講演内容及び時間は一部変更となる場合があります。

17:40～	<p>開会の辞 清永英利先生（フジ虎ノ門整形外科病院健康管理センター）</p> <p>座長挨拶 谷川 武先生 専門：公衆衛生学（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座教授）</p> <p>講演①『企業内における肥満者への取組み～特定健康診査・特定保健指導を中心に～』（20分） 加部 勇先生 古河電気工業株式会社 統括産業医 及び、鶴岡 寛子保健師 同千葉事業所</p> <p>講演②『高度肥満の放置がもたらす実態と、それを防ぐ内科治療～フォーミュラ食を含めて～』（15分） 齋木厚人先生 専門：内科（東邦大学医療センター佐倉病院糖尿病内分泌センター講師）</p> <p>講演③『高度肥満症の様々な成因～精神病理や心理社会的背景との関係～』（15分） 林果林先生 専門：精神科医（東邦大学医療センター佐倉病院メンタルクリニック講師）</p> <p>講演④『高度肥満者に対する外科治療～術式、効果、安全、コスト、患者QOLなど～』（15分） 関洋介先生 専門：肥満外科（四谷メディカルキューブ減量外科）</p> <p>各先生の発表後、1～2件の質問の受付け、最後に総括の質問時間を設けます。</p>
18:50～	<p>質疑応答 閉会の辞 谷川先生</p>

問合せ先：フジ虎ノ門整形外科病院 清永 英利

TEL：0550-89-7872（代表）

E-mail：h-kiyo@umin.org

主催：産業衛生肥満症研究会

協賛：NPOヒューマンセンター21、サニーヘルス株式会社

